

# 「横須賀市男女共同参画と多様な性についてのアンケート調査」

資料5-2  
男女共同参画及び多様な  
性の尊重に関する審議会  
令和7年5月23日

このたび、横須賀市では「第7次横須賀市男女共同参画プラン」を作るための基礎データとして、「男女共同参画と多様な性についてのアンケート調査」を実施することとなりました。このアンケートは、市民の皆さまの男女共同参画や多様な性に対する意識や感じていることをお伺いし、今後の取り組みの参考にさせていただくために必要なものです。ぜひ多くの方のお考えを伺いたく、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和7年（2025年）8月

横須賀市長 ○○ ○○

## 回答目安時間 10分～15分程度

皆さんの声をお聞かせください！

### ○アンケート調査について

- ・調査は、無記名で実施します。回答者が特定されることは一切ありません。
- ・調査票は、住民基本台帳（2025年7月1日現在）から無作為に抽出した15歳以上の2,000人の皆さまにお送りしています。調査結果は、後日、市ホームページなどで公表します。

### ○回答方法について

次の①、②のいずれかの方法でご回答ください。

#### ①調査票（この冊子）で回答

- ・設問ごとに「○は1つ」などと指定していますので、あてはまる番号に○を付けてください。
- ・調査票（この冊子）は、同封の返信用封筒（切手不要です。）に入れ、郵便ポストに投函してください。

※表紙（この紙）は取らずに、このまま投函をお願いします。

#### ②パソコン・タブレット・スマートフォンでオンライン回答

【オンライン回答ページ（e-kanagawa 電子申請システム）】

[https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=@@@](https://dshinsei.e-kanagawa.lg.jp/142018-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=@@@)

- ・ブラウザのURL欄に上記URLを入力して画面を開いてください。  
（スマートフォンからは、右の二次元コードを読み取ってアクセスできます。）
- ・回答の際は、はじめに以下の「オンライン回答用パスワード」を入力してください。

オンライン回答用パスワード \_\_\_\_\_

二次元  
コード

**9月●日（●）まで** に、ご回答（ご投函）をお願いします。

○お問合せ先 この調査に関するご不明な点は、下記部署までお問い合わせください。

横須賀市 市長室 人権・ダイバーシティ推進課  
電 話 046-822-8228（直通）  
メール we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp

# 令和7年度 男女共同参画と多様な性についてのアンケート調査

## 市民 調査票

### ■ご記入にあたって

- ① 設問は、選択肢の中から、あなた（あて名の方）ご自身の考えに最も近い選択肢を選んで○で囲んでください。
- ② 設問によっては、1つではなく複数の選択肢を選んでいただく場合があります。
- ③ 設問によって、回答していただく方が限られる場合があります。各設問の注意書きをよくご確認の上、お答えください。

はじめに、回答を統計的に分析するために、あなた自身のことをうかがいます

F 1 から F 6 それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

F 1 あなたの性別※	1 女性      2 男性      3 その他      4 回答しない
F 2 あなたの年齢 (令和7年8月1日現在)	1 15歳～19歳      2 20歳～29歳      3 30歳～39歳 4 40歳～49歳      5 50歳～59歳      6 60歳～69歳 7 70歳～79歳
F 3 あなたの働き方等	1 正社員・正職員      2 契約・派遣社員 3 パート・アルバイト      4 自営業 5 家事専業・無職      6 学生 7 その他
F 4 あなたは 結婚していますか	1 している（事実婚・パートナーシップを含む） 2 していない（離別・死別含む）
F 5 あなたは中学生以下のお子さんはいますか	1 いる      2 いない
F 6 同一世帯に介護が必要な家族はいますか	1 いる      2 いない

※男女の置かれている状況を客観的に把握するための統計（ジェンダー統計）上で必要なため、性別欄を設けています。また、多様な性の視点から、選択肢に「回答しない」「その他」を設けています。身体上、戸籍上の性別に関わらず、ご自身がどんな性別であると感じているか（性自認）に○をお願いします。

# 1 用語や制度の認知度についてうかがいます

問1 あなたは、次の①～⑩に掲げる用語や制度等を知っていますか。それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

	選択肢		
	知っている 内容も含めて	聞いたことはあるが、 内容までは知らない	聞いたこともないし、 内容も知らない
① 男女共同参画 ※	1	2	3
② ジェンダー (gender)	1	2	3
③ ダイバーシティ (diversity)	1	2	3
④ 持続可能な開発目標 (SDGs)	1	2	3
⑤ ジェンダー・ギャップ指数	1	2	3
⑥ 性的マイノリティ	1	2	3
⑦ L G B T Q + (LGBT, LGBTsを含む)	1	2	3
⑧ S O G I	1	2	3
⑨ アウティング	1	2	3
⑩ パートナーシップ宣誓証明制度	1	2	3

※用語の解説（この後の回答に必要となるため、解説を付けています。）

## 【男女共同参画】

男女共同参画は、女性と男性が対等な立場で社会に参加する機会が確保され、お互いに個性や能力を活かしながら協力し合う社会を目指す考え方です。これは、性別を理由に不平等な扱いを受けることなく、活躍できるようにするためのものです。

その他の用語の解説は、別紙に記載しています。ご参照ください。

## 2 男女共同参画（社会）に関する考え方についてうかがいます

問2 あなたは、次の①～⑦の各分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。

①～⑦それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

	選択肢					
	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない
① 社会全体で	1	2	3	4	5	6
② 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
③ 職場で	1	2	3	4	5	6
④ 学校教育の場（教育を受ける機会も含めて）で	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 地域活動（自治会、PTA等）で	1	2	3	4	5	6

問3 男女共同参画社会の実現に向けて、あなたが考える1番の課題は何ですか。

（○は1つ）

1 性別による固定的な役割分担の考え方の解消 2 女性の職業・意思決定の機会を増やす 3 男性優位の文化の解消 4 家事・育児への男性参加を進める 5 仕事と家庭の両立支援を進める 6 課題はない 7 その他（	
---	--

### 3 生活の中での男女共同参画についてうかがいます

問4 あなたは、次の①～⑤の意見について、どのように思いますか。①～⑤それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

	選択肢			
	賛成	賛成 どちらか といえば	反対 どちらか といえば	反対
① 男性は外で仕事をし、女性は家庭を守るべきである	1	2	3	4
② 男の子は男らしく、女の子は女らしく育てるべきである	1	2	3	4
③ 女性は子どもを産む/産まないを選ぶ権利を持っている	1	2	3	4
④ 夫、妻とも同姓である必要はなく、別姓であってもよい	1	2	3	4
⑤ 必ずしも結婚する必要はない	1	2	3	4

(問5は、現在、結婚(事実婚を含む)している方だけお答えください。)

問5 家事や子育て等は、誰が日常的に担っていますか。①～③それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。②③は、該当ない場合(お子さんや介護する方がいない場合)は「該当しない」に○をつけてください。

	選択肢						
	夫と妻で 協力して いる	主に妻が 担っている	主に夫が 担っている	夫と妻以外 の家族が 担っている	外部サ ービスを 利用して いる	その他	該当 しない
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護	1	2	3	4	5	6	7

#### 4 女性の職業生活における活躍を進めることについてうかがいます

問6 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- 1 生涯にわたり、職業をもち続けるのがよい
- 2 子どもが生まれたらいったん職を辞め、子どもが成長した後再び職業をもつのがよい
- 3 子どもが生まれたらいったん職を辞め、その後は家事や育児に専念するのがよい
- 4 結婚したら職を辞め、家事に専念するのがよい
- 5 女性は職業をもたない方がよい
- 6 その他 ( )

問7 女性が長く働き続けるためには、あなたは、どのようなことが特に重要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 男女間の賃金・昇進等の格差解消
- 2 育児・介護休業制度の充実
- 3 柔軟な勤務形態の導入（フレックス※・在宅勤務等）
- 4 保育・介護サービスの充実
- 5 育児や介護等で退職した社員の再雇用制度の整備
- 6 職場での健康支援の充実
- 7 家族や周囲の理解と協力
- 8 女性の意識改革
- 9 男性の意識改革
- 10 特にない
- 11 その他 ( )

※フレックスタイム：総労働時間だけを決め、出退勤の時刻は労働者の自由に任せる制度。

問8 あなたは、政治、経済、地域活動において、リーダーや役員にもっと女性の参画が必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 そう思う
- 2 どちらかというと思う
- 3 どちらかというと思わない
- 4 そう思わない

## 5 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）についてうかがいます

問9 仕事と生活を両立できるようにするための国や市役所等の公的な取り組みとして、あなたが最も重要だと思う選択肢に○をつけてください。（○は1つ）

- 1 社会全体に対する意識づくり
- 2 両立支援の制度強化
- 3 企業、事業所に対する環境整備の働きかけ
- 4 出産や育児、介護等に関するサービスの充実
- 5 就職や復職、起業に対する支援
- 6 その他（ ）

問10 あなたは、今までに育児休業・介護休業※を取ったことがありますか。  
①～②それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

	選択肢	
	ある	ない
①育児休業	1	2
②介護休業	1	2

※育児休業とは、育児・介護休業法に基づいて、労働者が原則として1歳に満たない子を養育するためにする休業です。介護休業とは、育児・介護休業法に基づいて、労働者が要介護状態にある対象家族を介護するためにする休業です。

## 6 男性の育児や介護の参画についてうかがいます

問11 あなたは、男性が育児や介護のために休業を取ることにどう思いますか。  
（○は1つ）

- 1 積極的に取るべき
- 2 どちらかといえば、取る方がよい
- 3 どちらかといえば、取らない方がよい
- 4 取るべきではない

問 12 育児休業や介護休業を取る男性は、女性に比べて少ないことや、期間が短いのが現状です。あなたが、特に大きな要因だと思うものを選んでください。(○は3つまで)

- 1 職場の理解を得られないから
- 2 職場の同僚に申し訳ないと思うから
- 3 人手不足で代わりの人がいないから
- 4 昇進や昇給に影響する恐れがあるから
- 5 休業後の職場復帰に不安があるから
- 6 仕事の量が多いから
- 7 仕事の責任が重いから
- 8 休業中は収入が少なくなり、家計を維持できないから
- 9 女性の方が育児や介護に向いているから
- 10 その他 ( )

問13 あなたは、今後、男性が家事・育児・介護などの家庭生活や地域活動をより積極的に行っていくためには、どのようなことが特に必要だと思いますか。(○は3つまで)

- 1 男性が育児・家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくす
- 2 男性が育児・家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくす
- 3 まわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重する
- 4 男性による育児・家事などについて、職場における上司や周囲の理解を進める
- 5 多様な働き方を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
- 6 啓発や情報提供、相談窓口の設置
- 7 家事・育児・介護に関するセミナーを行う
- 8 男性が育児・家事などを行うための 仲間作りやネットワーク作りをすすめる
- 9 その他 ( )
- 10 特に必要なことはない



## 7 健康支援を進めることについてうかがいます

問14 女性の社会進出等の観点からも、女性の健康課題※に対する取り組みが重要視されています。女性の健康課題について、職場でどのような配慮があると働きやすいと思いますか。特に重要だと思う選択肢に○をつけてください。(○は3つまで)

- 1 経営陣・トップの理解
- 2 上司の理解
- 3 社員全体の理解
- 4 出産・子育てと仕事の両立支援
- 5 介護と仕事の両立支援
- 6 病気治療と仕事の両立支援
- 7 生理・更年期障害への支援環境
- 8 婦人科健診・検診への補助
- 9 その他 ( )
- 10 特にない・よくわからない

※月経痛や月経前の時期の不調（PMS：月経前症候群）など月経周期に伴う不調、妊娠、不妊、更年期障害、婦人科系がん等の疾患や不調を指します。

(問15は、女性のみお答えください。)

問15 あなたは、過去2年間に以下の2つのがん検診※を受けましたか。それぞれの検診について、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

※健診等（健康診断、健康診査及び人間ドック）の中で受診したものを含みます。

	選択肢	
	受けた	受けていない
(20歳以上の方のみお答えください)		
① 子宮がん（子宮頸がん）検診（子宮の細胞診検査など）	1	2
(40歳以上の方のみお答えください)		
② 乳がん検診（マンモグラフィ撮影や乳房超音波（エコー）検査など）	1	2

## 8 市の相談支援窓口についてうかがいます

問16 あなたは、次の①～⑤に掲げる市の相談事業を知っていますか。それぞれについて、あてはまる選択肢に1つだけ○をつけてください。

	選択肢		
	知っている 内容も含めて	聞いたことはあるが、 内容までは知らない	聞いたこともないし、 内容も知らない
① 市民相談室	1	2	3
② ほっとかん（福祉の総合窓口相談）	1	2	3
③ デュオよこすか「女性のための相談室」	1	2	3
④ 女性のためのDV相談	1	2	3
⑤ よこすかLGBTs相談	1	2	3

## 9 性別等に基づく人権侵害（DV※、ハラスメント等）についてうかがいます

問17 「人権が侵害されている」とあなたが感じるのはどのような場合ですか。  
あてはまる選択肢に○をつけてください。（○はいくつでも）

1 買春・売春・援助交際	2 風俗営業	3 ストーカー行為
4 パートナー（配偶者）や恋人からの暴力（DV、デートDV）		
5 痴漢	6 性暴力などの性犯罪	7 メディアにおける性的描写・性的表現
8 セクシュアル・ハラスメント	9 容姿を競うコンテスト	10 誹謗中傷
11 その他（ ）		

### ※用語解説

#### 【DV（ドメスティック・バイオレンス）】

配偶者や恋人、婚約者、同棲相手など親密な関係にある者が、体力、経済力、社会的信用等のパワー（力）を背景にパートナーに対して様々な暴力をふるうことをいいます。女性のみならず、誰もが被害者になりえます。

#### 【デートDV】

カップル間（または元カップル間）で起こるDVを「デートDV」といいます。

問 18 あなたは、職場や学校、地域などにおいてセクシュアル・ハラスメント※で不快な思いをしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない

※セクシュアル・ハラスメントの例

不必要に体を触られた。交際や性的関係を強要された。食事やデートにしつこく誘われた。宴会でお酌やデュエットを強要された。性的なうわさを立てられた。年齢や容姿のことで不愉快なことや冗談を言われた。交際関係や恋人の有無、結婚・出産についてたびたび聞かれた。卑猥（ひわい）な冗談を言われたり、会話に付き合わされた。就職活動中に面接等で就職活動に関係ないプライベートなことをしつこく聞かれた。など

問 19 あなたは、あなたの身の回りで職場や学校、地域などにおいてセクシュアル・ハラスメントで不快な思いをした人を見たり聞いたりしたことがありますか。(○は1つ)

- 1 ある
- 2 ない

問 20 あなたは、セクシュアル・ハラスメントをなくするためにはどのような取り組みが最も必要だと思いますか。(○は1つ)

- 1 公的機関の相談や指導の強化
- 2 民間ボランティア団体等のチェックや相談
- 3 職場内でのチェックや相談
- 4 セクシュアル・ハラスメントを禁止する法律や条例などの強化
- 5 セクシュアル・ハラスメントは人権侵害だという社会意識づくり
- 6 その他（ ）

問 21 配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）について、相談できる機関としてあなたが知っている選択肢に○をつけてください。(○はいくつでも)

- |                  |                |                 |
|------------------|----------------|-----------------|
| 1 警察             | 2 市役所          | 3 配偶者暴力相談支援センター |
| 4 かながわ男女共同参画センター | 5 民間支援団体       |                 |
| 6 法務局（人権擁護委員）    | 7 相談できる機関を知らない |                 |

問 22 あなたは、配偶者や恋人など親しい間柄における暴力（DV）に対する対策や支援として特に重要だと思う取り組みはなんだと思いますか。（○は3つまで）

- 1 暴力は犯罪であるという意識の啓発
- 2 緊急避難場所の整備
- 3 緊急相談体制の充実
- 4 生活支援の充実（住居、就労、経済支援）
- 5 精神的援助の充実（カウンセリング）
- 6 情報提供の強化（機関紹介、対応方法）
- 7 法的サポートの充実
- 8 加害者への対処と更生支援
- 9 同行支援（裁判所、病院、住居探し）
- 10 その他（ ）

10 多様な性・性的マイノリティ（LGBTQ+）についてうかがいます

## 用語解説

【性的マイノリティ (LGBTQ+)】

同性が好きな人や自分の性別に違和感を覚える人などのことをいいます。それぞれの頭文字をとって LGBTQ と呼ばれていますが、この他に「心の性」が男女どちらでもないという X ジェンダーや、どんな性別の相手にも性的欲求や恋愛感情を持たないアセクシュアルなど、色々なセクシュアリティの人がいるため、「LGBTQ+」ともいわれます。

- ・ L（レズビアン）：女性に性的あるいは恋愛感情を抱く女性
- ・ G（ゲイ）：男性に性的あるいは恋愛感情を抱く男性
- ・ B（バイセクシュアル）：好きになる性が異性と同性の両方に向いている人
- ・ T（トランスジェンダー）：体の性と心の性に違和感がある人
- ・ Q（クエスチョニング）：性のあり方がはっきりしていない、はっきりさせないことにしている人

【性自認】（心の性）

自分が思う自分の性のこと体の性と異なる場合もあれば、男女のどちらでもあると感じる人、どちらでもないと感じる人もいます。

【性的指向】（好きになる性）

恋愛や性愛の対象となる性のこと。異性愛、同性愛、両性愛などあれば、いずれの性別にも性的関心や恋愛感情を感じない（もたない）無性愛もあります。

問23 あなたは、今までに自分の性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）に悩んだことがありますか。（○は1つ）

- 1 性的指向（好きになる性）で悩んでいる・悩んだことがある。
- 2 性自認（心の性）で悩んでいる・悩んだことがある。
- 3 ない

問24 あなたは、あなたの身の回りの人から、性的指向（好きになる性）や性自認（心の性）について相談を受けたことがありますか。（○は1つ）

- 1 ある
- 2 ない

問25 あなたの身の回りに性的マイノリティ（LGBTQ+）の当事者はいますか？  
（○はいくつでも）

- 1 家族や親族にいる      2 友人や知人にいる      3 学校や職場にいる  
4 1～3以外の関係でいる      5 周囲にはいない（知らない）

問26 あなたは、性的マイノリティ（LGBTQ+）の当事者への支援として、特に重要だと思う市役所がすべき取り組みは何だと思いますか。（〇は3つまで）

- 1 広報やセミナー・講座等による啓発
- 2 学校等での教育と教職員への研修
- 3 当事者やその家族などからの相談に対応できる窓口の充実と周知
- 4 様々な施策の中に多様性の視点を取り入れること
- 5 民法（婚姻に関するもの）改正や性別を問わずに婚姻できる法律の制定
- 6 当事者や支援団体と市役所等を交えた意見交換
- 7 働きやすい職場環境づくりを進めるための企業等への働きかけ
- 8 その他（ ）
- 9 特になし・わからない

## 1 1 横須賀市が進める取り組みについてうかがいます

問 27 あなたが、男女共同参画社会、多様な性が尊重される社会の実現に向けて、横須賀市が特に重点をおいて取り組むべきと思うものは、どのようなことですか。  
(○は3つまで)

- 1 広報やセミナー・講座等の充実
- 2 性的マイノリティ(LGBTQ+)に対する支援と理解を進める取り組み
- 3 女性の管理職割合向上やリーダーの育成を進める取り組み
- 4 出産や子育てで離職した女性の再就職支援
- 5 多様で柔軟な働き方や仕事と育児・介護との両立支援
- 6 男性の家事・育児・介護への参加を進める取り組み
- 7 子育てと両立できる環境整備（保育所、放課後の居場所等）
- 8 女性の健康課題に対する支援
- 9 様々な困難を抱える女性やひとり親家庭の支援
- 10 ジェンダーに基づく暴力（DV）や性犯罪・性暴力を防止する取り組み
- 11 その他（ ）



## 1 2 アンケート全般についてうかがいます

問 28 その他、ご意見等がありましたらご記入ください。

（自由記入）

質問は以上です。ご協力ありがとうございました  
ご記入がおわりましたら、同封の返信用封筒にて●月●日（●）までに投函してください。

## 用語解説

用 語	意 味
男女共同参画	男女共同参画は、女性と男性が対等な立場で社会に参加する機会が確保され、お互いに個性や能力を活かしながら協力し合う社会を目指す考え方です。これは、性別を理由に不平等な扱いを受けることなく活躍できるようにするためのものです。
ジェンダー	生まれつきの生物学的性別（セックス／sex）ではなく、「男らしさ」「女らしさ」など社会や文化がつくる性別のイメージや役割のことです。例えば「男／女はこうあるべき」といった考え方や決まりが、ジェンダーです。一人ひとりが自分らしく生きられるために、固定観念にとらわれず、お互いを尊重することが大切です。
ダイバーシティ	「多様性」のことです。性別や年齢、国籍、障がいの有無、考え方など、いろいろな人がいることを認め合い、みんなが自分らしく活躍できる社会を目指す考え方です。
持続可能な開発目標 (SDGs)  Sustainable Development Goals	貧困や環境問題、ジェンダー平等など、2030年までに達成するための17の目標があり、地球や社会を守り、よりよい未来をつくるために、国や企業、市民が協力して取り組んでいこうという世界共通の目標です。「誰一人取り残さない」社会の実現を目指しています。
ジェンダー・ギャップ指数 	世界経済フォーラムが算出している指数で、男性と女性の平等さを示す世界的な指標です。政治・経済・教育・健康の4つの分野で、男女の差がどれくらいあるかを数値で比べます。0が完全不平等、1が完全平等を表しています。
ワーク・ライフ・バランス	「仕事（ワーク）」と「生活（ライフ）」のバランスを取ることです。仕事だけでなく、家庭や趣味、休息など自分の生活も大切にしながら、無理なく働くことを目指す考え方です。バランスが取れることで、心も体も健康に過ごすことができます。
デュオよこすか 	横須賀市立総合福祉会館5階にある横須賀市の男女共同参画及び多様な性を尊重する社会推進施設です。 「デュオルーム」と「女性のための相談室」があります。

用 語	意 味
<p>性的マイノリティ (LGBTQ+)</p>	<p>同性が好きな人や自分の性別に違和感を覚える人などのことをいいます。それぞれの頭文字をとってLGBTQと呼ばれていますが、この他に「心の性」が男女どちらでもないというXジェンダーや、どんな性別の相手にも性的欲求や恋愛感情を持たないアセクシュアルなど、色々なセクシュアリティの人がいるため、「LGBTQ+」ともいわれます。</p> <p>L (レズビアン) : 女性に性的あるいは恋愛感情を抱く女性  G (ゲイ) : 男性に性的あるいは恋愛感情を抱く男性  B (バイセクシュアル) : 好きになる性が異性と同性の両方に向いている人  T (トランスジェンダー) : 体の性と心の性に違和感がある人  Q (クエスチョニング) : 性のあり方がはっきりしていない、はっきりさせないことにしている人</p>
<p>S O G I</p>	<p>SOGI とは、恋愛感情や性的な関心がどの性に向いているかを示す「性的指向 (Sexual Orientation)」と、自分が認識している性別を示す「性自認 (Gender Identity)」の英語の頭文字をとった言葉です。SOGI は、異性愛者も LGBT 等の性的少数者も全ての人が持っているものです。</p>
<p>アウティング</p>	<p>カミングアウトした本人の許可なく、セクシュアリティを他の人に伝える事（暴露すること、言いふらすこと）を「アウティング」といいます。相手が伝えてくれた事でも、他の人に（家族や親しい間柄でも）知られたくないかもしれません。誰に伝えているか、きちんと本人に確認するようにしましょう。</p>
<p>パートナーシップ宣誓証明 制度</p>	<p>戸籍上の性別にとらわれず、同性カップルや事実婚の人などが、お互いが人生の大切なパートナーであることを宣誓し、市が公に証明する制度です。また、令和6年1月から、パートナー2人だけでなく、子どもや親等との家族関係を市が公に証明する「ファミリーシップ制度」を導入しました。</p>
<p>よこすか LGBTs 相談</p>	<p>同性または男女両方を好きになる人、性別に違和感がある人（迷っている、はっきりしない人も含む）とその家族や支援者（市内の学校・企業・支援施設など）のご相談に、専門の相談員が応じます。氏名や住所を伝える必要はなく、プライバシーは守られますので、どんな悩みでもご相談ください。</p>